

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

如月 月次祭挨拶

皆様こんにちは

如月月次祭に参拝して頂き誠にありがとうございます。

今日は、暦の上で雨水とい
い雪から雨に変わる中で天候
もちょうど雨が降っていて何
か因縁があるように思えます。

今日は本部より木村且哉様
と矢野裕己様を通してアメリ
カ在住のビルロバーツ氏との
オンライン交流会をこの後、

行つて頂きます。開始時間は
十二時からとなっています。

皆様方には、人型大祓いの
ご用に一方ならぬご奉仕をい
ただき厚く御礼申し上げます。
無事二月三日の節分大祭にお
届けいたしました。

地方祭員と奉仕された方達
ご苦勞様おつかれさまでした。

近年人型活動にご尽力いた
だいていた方々が健康上の都
合でご辞退されておられるな

かで、お陰様で名古屋分苑と
して人型・型代含め一万四千

五百三十体、お玉串料三百六
十四万円を納めることが出来
ました。ありがとうございます
した。

今年の節分大祭は、屋台・
青年部のうどんも出店され久
しぶりの賑わいとなり、参拝
者・祭員・瀬織津姫・祭典関
係者含め合計千二百三十九名
の数になりました。

人型活動がひと段落しまし
たが、令和六年度用の人型申
込が来ていますので、各支部
の棚に用紙を入れてあります。
五月十五日には申込枚数を本
部へ連絡しますので五月月始
祭までには報告をお願いいた
します。

二月十二日、会計監査をし
て頂きこの後、令和四年度の
決算報告を総代会にて審査し
ていただきます。

今後の分苑行事では二月二

十五日と二十六日土曜日・日
曜日は、教本二級講習会を行
います。まだ受講者名をお書
きになっておられない方は教
本の数とお昼の準備のため名
前の記入をお願いいたします。
三月になりますと東海サミ
ットが長野主会の主催で松代
壮にて開催されます。

また月次祭終了後には、機
関長会議を開催いたします。
議題は令和四年度の決算報告
が主な内容です。

会議案内は特にお出しは致
しません。ほぼ分苑行事予定
表通りに進めてまいります。
なごみにも、行事予定が記載
されていますので宜しくお願
いいたします。

三月下旬二十六日は、静岡
分苑の記念大祭に、教主様の
ご臨席が決定されています。

四月春の大祭につきまして
今回はみなと会合所の方が大
祭執行委員長で、副が城北分
所となっております。すでに慰
霊祭の申し込みはいたしました。
総代会終了後に打ち合わ
せを行います。

大祭後は、東海教区の主会
長の方々が名古屋分苑に集合
されて全国主会長・人類愛善
会協議会長会議にオンライン
で参加予定です。そのため、
本部講師の派遣はありません。
東海サミットで決定されま
すので三月の月次祭には、お
知らせいたします。

この後、ビルロバーツ氏と
のオンライン交流会がありま
すので挨拶はこの辺で終わら
せて頂きます。

本日のご参拝誠にありがと
うございました。

行事報告

● 月始祭

二月四日(土) 参拝者十名

齋主 小林 清人
祭員 妹尾 正治
進行 天野 芳幸



● 月次祭

二月十九日(日)

参拝者 四十二名
齋主 飯田 和彦
祭員 堀 健太郎
祭員 影近 博己
祭員 畠山 茂
裏方 妹尾 正治
伶人 佐古 美鈴
伶人 澤田 淳
伶人 長谷川 美枝
進行 井藤 良則



● 節分大祭 ご奉仕

二月三日(金)
地方祭員 日比達朗



●ビルロバーツ氏との
オンライン交流会
二月十九日に本部より、木村且哉氏と矢野裕巳氏が来苑され、月次祭参拝後に分苑を会場に実施された。
木村氏の挨拶、矢野氏の主旨説明後、十二時よりビルロバーツ氏が十数年前の写真撮影を通しての大本の出会いや印象について話された。引き続き質疑応答をして十二時半に終了となった。



●教本二級 認定講習会
二月二十五・二十六日の両日、講師を松永孝司、三河本苑特任宣伝使・堀宜雄、名古屋分苑特任宣伝使にお願いし、名古屋分苑で開催された。
受講者の方々には非常に熱心に取り組み、対話実習にも積極的に対応されていた。全員が五分間スピーチを行い、充実した講習となった。参加十二名（岐阜主会一名）

●節分大祭ご神水浄化祈願
畠山 茂 報告
みなと会合所は二月十二日（日）に港区の藤前干潟、名古屋港、中川運河の三か所で天津祝詞奏上後、金明水を注ぎ浄化と世界の平安を祈念しました。参加者二名。
特に藤前干潟は庄内川の河口で川の水が伊勢湾に流れていきます、来るかもしれない東南海地震も大難が小難になればとの思いを込めてお祈りさせていただきました。



行事予定

三月十九日（日）

月次祭 午前十時半より

尾張戸神社 遥拝祭

前期機関長会議

四月一日（土）

月始祭 午後一時半より

名古屋分苑 令和4年度 収支決算書

2月19日に開催された総代会にて下記のように収支決算書が承認されました。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
玉串料	2,575,500	祭務費	656,831
本部交付金	755,448	玉串費	353,000
分苑維持献金	1,418,530	教化費	299,955
雑収入	64	総務費	1,282,126
		維持費	796,913
		厚生費	146,050
		小計	3,534,875
		当期収支差額	1,214,667
合計	4,749,542	合計	4,749,542

『おほもとしんゆ（第1巻）』『いづのめしんゆ』『霊界物語（第1巻）』の拝読を!!

令和5（み）・6（ろ）・7（く）年の佳節の初年度を迎えた意義ある年に、多くの信徒が『おほもとしんゆ（第1巻）』『いづのめしんゆ』『霊界物語（第1巻）』の3冊を拝読させていただきます!!

●拝読

拝読期間：令和5年2月3日から12月31日まで
※拝読は、3冊のうちどの巻から始めても結構です。

●拝読完了者 記念品

全3冊を拝読完了された方には、記念品として教主さまご染筆「OOMOTO」「AIZEN」葉2組（複製）がご下付されます。「拝読完了報告書」をご提出ください。

国内愛善宣教課

「拝読完了報告書」が必要な方は総務、瓜生まで